

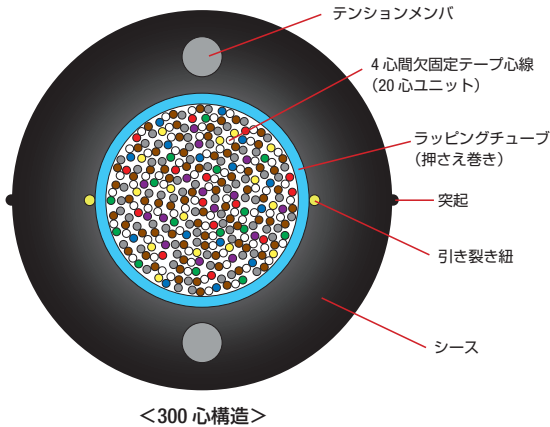
(SWR® + WTC®) 型光ケーブル

**在庫あり** 在庫しているタイプ・心数がありますので、お問い合わせください。

# 細径高密度型 光ファイバケーブル

**在庫あり**

SR15E 標準：WB



<300心構造>



引き裂き紐を引っ張ってシースを裂く場合には、フラットノーズプライヤや平口リードペンチなどで、くわえ部が平らなもの(ギザ無し、溝無し)を使うと便利です。

- SWR® テープと WTC® 構造の最新光技術を利用し同じ心数のスロット型光ケーブルと比べて飛躍的に細径・軽量化を実現した光ケーブルです。
- 中間後分岐が可能な光ケーブルです。
- 中間後分岐作業での引き裂き紐の取り出しには、弊社製の専用工具「WTC/SWR® 用シース除去工具」を推奨します。
- ケーブル端面では、汎用工具で引き裂き紐を取り出し、口出し作業ができます。
- 間欠固定テープ心線は専用工具を用いることなく単心分離が可能です。
- 標準タイプは吸水材を使用した防水仕様です。

項目	型番	4心間欠固定テープ型					8心間欠固定テープ型			
		OG4WTZTWBE					OG8WTZTWBE			
心線 (心)		24	40	60	100	200	300	400	640	1000
標準外径 (mm)		9.0	9.0	9.5	10.0	12.0	13.0	14.0	16.0	18.5
標準質量 (kg/km)		65	65	70	80	110	135	150	185	260
許容張力 (N)		830	830	830	830	1270	1760	1760	1760	2350
許容曲げ半径 (mm)*3	延線時	180	180	190	200	240	260	280	320	370
	固定時	90	90	95	100	120	130	140	160	185
テープファイバ		4WT					8WT			
テープ枚数		6	10	15	25	50	75	50	80	125
ユニット数	20心ユニット (4WT × 5)	-	-	3	5	10	15	-	-	-
	80心ユニット (8WT × 10)	-	-	-	-	-	-	5	8	13*4

\*ファイバ種別、オプション等により値が異なる場合があります。  
 \*1: 布設時の屈曲部用金車には、曲率半径 300mm の金車が適しています。  
 曲率半径 300mm の金車を使用する場合は、表記載の許容張力または 1470N の低い方の値以下で布設してください。(表記載の許容張力は、直線で引っ張った場合の値を記載しています。)  
 \*2: 布設時の屈曲部用金車には、曲率半径 600mm の金車が適しています。  
 \*3: テンションメンバ平行方向のみ  
 \*4: 13 番ユニットのみ 40 心ユニット (8WT × 5) になります。

ご注文 型番例

## OG4WTZTWBE SR15E × 100C (レングスマーク)

**在庫あり** OG4WTZTWBE SR15E × □ C (レングスマーク)  
 OG8WTZTWBE SR15E × □ C (レングスマーク)

□ : 心数 24, 40, 60, 100, 200, 300  
 □ : 心数 400, 640, 1000

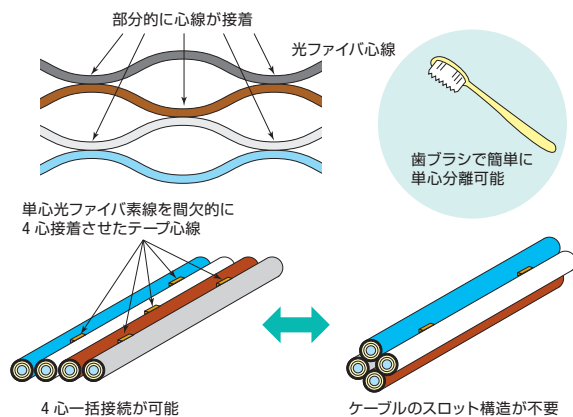
※在庫品種は予告なく変更することがあります。

### 特徴 1

Key Technology ①

#### Spider Web Ribbon® (SWR®)

- 複数心の光ファイバを並列して間欠的に接着。
- 容易に変形することによりケーブルのスロット構造が不要。
- 接続時は並列形状に復帰し、テープ一括接続が可能。



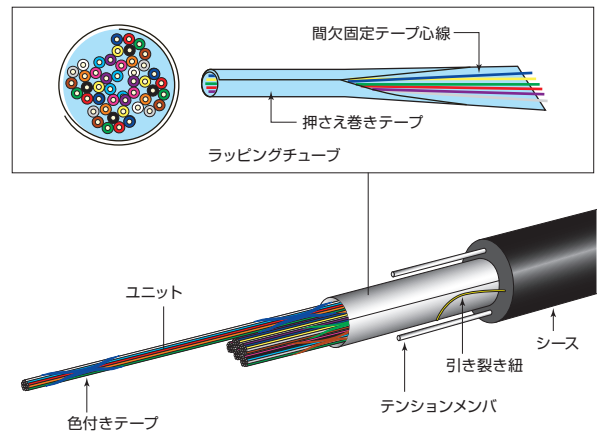
\* SWR®+WTC® は、ケーブルの細径・軽量化を図る上で必須の最新かつ未来指向型の Key Technology です。

### 特徴 2

Key Technology ②

#### Wrapping Tube Cable® (WTC®)

- SWR® を押さえ巻きテープでラッピングした構造になっています。
- シース除去作業で安心、安全に口出しすることが可能。



### 特徴 3 ユニット

- 心数の多い光ケーブルでは、色付きテープを使用して、4心間欠固定テープ心線(4WT) × 5枚 を束ねて 20心ユニットを、または、8心間欠固定テープ(8WT) × 10枚 を束ねて 80心ユニットを構成し、さらに複数のユニットを集合してケーブル化しています。
- ユニットの識別は、色付きテープの“色”で行います。
- テープスロットケーブルで一つのスロット(溝)に入っていたテープをそのままユニット化する設計ですので、溝番号とユニット番号が一致しており、融着トレイ等へは、ユニットのまま引き回すことが可能です。